

**2020～21年度  
（令和2～3年度）**

**柏市  
町会・自治会・区  
活動事例集**

**柏市市民活動支援課  
柏市地域協働を考える会**



# はじめに

## 1. 作成趣旨

この事例集は、柏市内の町会等（町会、自治会、区）の積極的な取り組みや実情を広く紹介するもので、6冊目になります。

地域活動にあっては、困り事など多くの課題がありますが、課題の解決に一生懸命取り組んでいる町会等もあり、課題解決のヒントを得るために、市内の町会等を取材し、事例集としてまとめました。

特に今回は、新型コロナウイルス感染症拡大により取材が滞り、2年間分をまとめることとなりました。この間、町会等活動が厳しく制限する中でも、出来る活動を見出し積極的に継続している町会等を取材しました。その一方で解散する町会にも取材し、町会活動の差異を大きく感ずる2年間でした。

この事例集を手にとって下さった方が、御自身の町会等行事や運営について、他地域の取り組みを知り、今後の地域活動に活かしていただければ幸いです。

## 2. 協働事業紹介

現在、柏市地域協働を考える会と柏市市民活動支援課は、協働で地縁組織のあり方を模索しており、この事例集はその一環として、取材と編集を行いました。

事例集の他、町会等情報交換会の開催などを、協働で開催し8年目となりました。町会等情報交換会は14回目を開催することができました。

## 3. 柏市地域協働を考える会の紹介

本会は、柏市市民活動支援課と協働し、町会や自治会、区等の困りごとや課題について、共に考え、これを自ら解決することを目的に、2014年に発足した公益活動団体です。柏市と町会等の地域団体の協働促進に役立てることを目指し、中間支援を行っています。是非、ホームページをご覧ください。

柏市 考える会

検索

## 目 次

1. 町会等の加入率の実態	… P.	3
2. コロナ禍での町会等活動の実態	… P.	4
3. コロナ禍での町会等運営の課題	… P.	5
4. 課題解決に向けて ～コロナ禍で学んだ町会等活動～	… P.	6
5. 特徴ある活動事例		
1) コロナ禍での町会等運営（会議、会費集金、高齢化対策等）	… P.	9
2) コロナ禍での町会等行事	… P.	16
3) ICT化への取り組み	… P.	20
4) 町会等の解散や停滞の状況	… P.	20
6. アルバム	… P.	22
7. 資料編	… P.	26
8. 町会等情報交換会、取材活動の紹介	… P.	27
9. インタビューを終えて	… P.	28



## 1. 町会等の加入率の実態

柏市の町会、自治会、区（以降、町会等と記載します）の加入率は年々下がっており、町会等活動の衰退が止まりません。2021年度の加入率は約63%となり、市内の1/3以上の世帯（約7万3千世帯）が町会等に加入していない状況です。

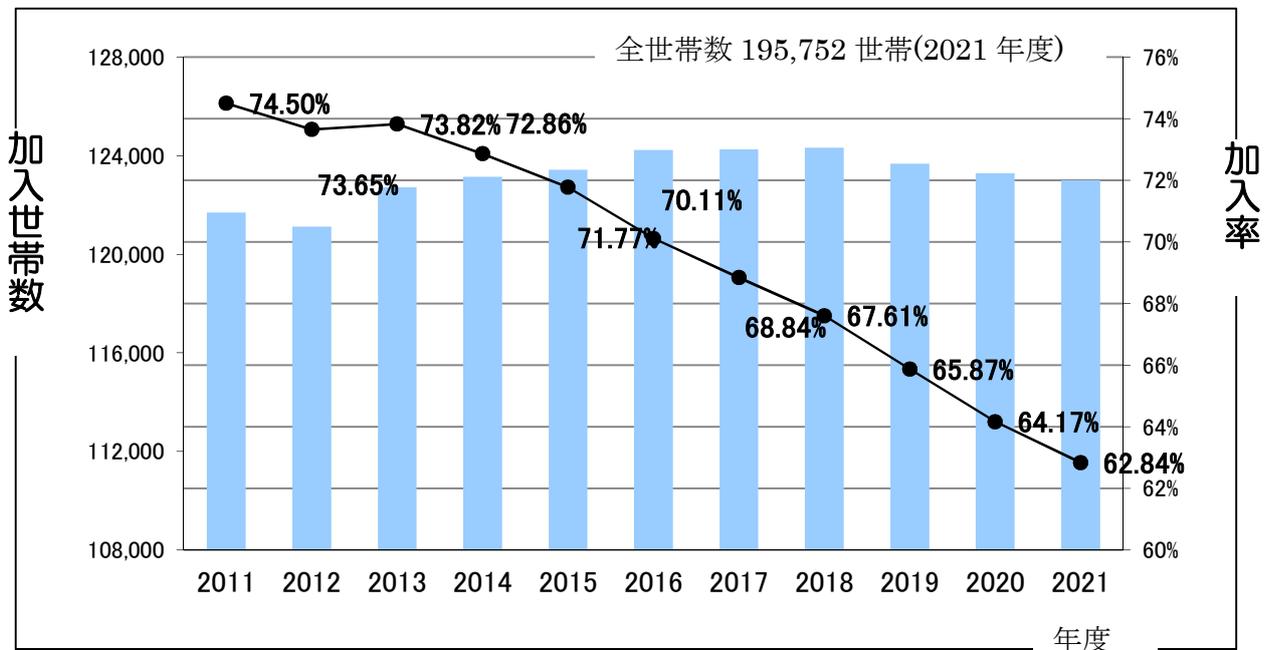


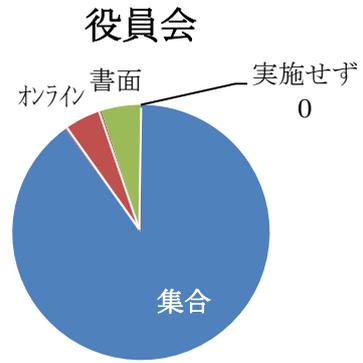
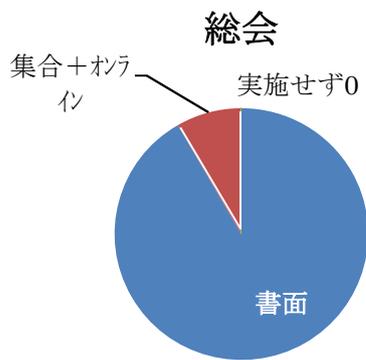
図1. 柏市の町会、自治会、区の加入率推移

コロナ禍により、この2年間は町会等活動が思うように出来ず、町会等を退会する人たちが増えています。加入促進施策を積極的に進め、加入率の低下を止めることが必要と考えます。

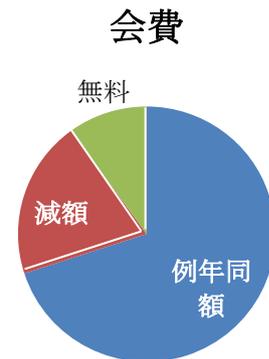
## 2. コロナ禍での町会活動の実態

新型コロナ感染防止のため、人との接触を制限され町会等活動は停滞しました。その中でも多くの町会等が、様々な手段を講じ、また工夫をし、更にICT（情報技術）を駆使しながら活動を継続する努力を行っていました。コロナ禍の2年間で町会等がどのような活動をしているのか、少人数での取材やオンライン情報交換会等で得られた情報をまとめました。

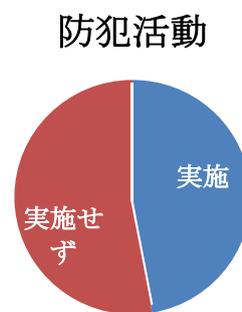
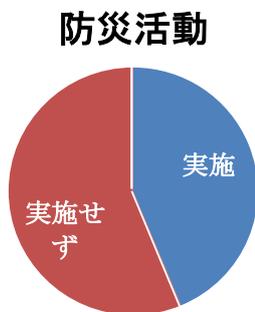
- ①総会や役員会はすべての町会等で実施しました。ほとんどの総会は書面決議にて実施しましたが、一部の町会等では少人数の集合とオンライン会議にて総会が開催されました。また、役員会はほとんどが対面で行われましたが、一部の町会等ではオンライン会議を活用していました。



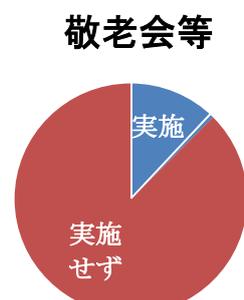
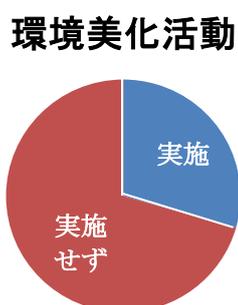
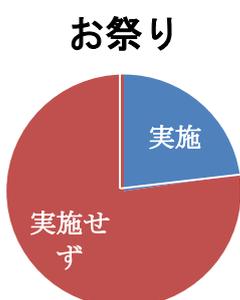
②会費は、7割の町会等が例年通りの金額を集金し、2割は減額（半額程度）、1割が集金しないところもありました。



③防災活動は、4～5割の町会等が、例年の避難訓練や炊き出しを形を変えて実施しました。安否確認訓練をはじめ、防災研修会や防災マニュアル整備、防災備品・備蓄品の点検見直し、防災啓発活動などを行いました。また防犯活動も、4～5割の町会等が防犯パトロールを三密回避しながら継続し、地域の安全を見守りました。



④イベント（お祭り、環境美化、敬老会など）は、1～3割の町会等が、様々な工夫を加え、形を変えて実施しました。集合は避け、分散やオンラインを駆使して楽しみながら会員の交流を深めました。役員の皆さんの熱意が伝わるイベントになっていました。詳細は、各町会等の「特徴ある活動事例」をご参照下さい



### 3. コロナ禍での町会等運営の課題

#### 1) 町会等活動の停滞

人が集まり、顔を合わせることを前提とした町会等活動が何も出来なくなりました。イベントはもちろん、会合も、ものを手渡しすることもできず活動停止をせざるを得なくなりました。

現在は、ようやく感染者の拡大も抑えられていますが、またいつ拡大するのか不安な状況は続きます。顔と顔を合わせた関係が構築できず、ご近所の協力を得られないため、自己責任で生活をせざるを得なくなっています。

#### 2) 地域の治安維持、非常時の協力体制の弱体化

防災防犯活動ができず、地域の治安維持や災害時等いざという時の協力体制が弱体化しています。住民の防災防犯意識を維持し、安全で安心な地域を継続するには、できる範囲で日頃の活動を行う必要があります。

#### 3) 孤立した住民の増加

隣近所との関係が希薄になると、孤独死や犯罪被害に合うことが増えてきます。また人と人との会話が出来ない事は寂しく、味気の無い生活を強いられることとなります。

#### 4) 町会等活動の継承（引継ぎ）が出来ない

何も活動がないまま、次の役員に引き継ぐことは、何も経験しない役員に活動を無理強いすることとなり、町会離れが加速されます。

#### 5) 町会等加入率の減少

このまま活動が停滞した町会等では、入会する意義を感じることができず、新規入会者の減少、退会者の増加が予想されます。その結果、益々町会等加入率の減少が進んでしまいます。

### 4. 課題解決に向けて～コロナ禍で学んだ町会等活動～

#### 1) コロナ禍での町会活動の考え方

コロナ禍となり、改めて町会等の在り方が問われています。町会等に何故加入するのか？どのような活動をしなければならないのか？再確認する必要があります。今までに、多くの町会等役員の皆さんと話し合った内容は次ページですのでご参照下さい。

## 【町会、自治会、区とは】

### ①目的

市民が自主的に、その地域に住む人と人を繋ぎ、安心/安全/住み良い地域を創りだすこと

### ②何故あるのか？

住民の連帯感を醸成することにより孤立や孤独を回避し、地域問題の早期解決を図る住民主体の自治を確立するため

### ③住民から見たメリット

- ・地域の協力関係、支援関係を容易に得られる
- ・住環境を改善し、不便を感じないものにできる

### ④もし、町会等が無かったら？

町会等活動の負担や煩わしさは無くなるが、地域問題は全て自己負担で自己解決する必要がある。

またコロナ禍の中で「新たな生活様式」が問われていると同様に、町会等活動も「新たな町会等活動」が求められています。すでに新たな活動を始めた町会長の共通した考え方は、以下の内容です。

- ・「コロナだから活動は止める」では無く、「コロナだから出来る事や出来る方法を考えて活動をしよう」と前向きに捉える事が大切。
- ・一度止めてしまった行事は、再開が難しい。持続可能な活動をするための引継ぎや伝承方法を検討する必要あり。
- ・同じことを実施することが難しいのであれば、思い切って新たな活動や内容を始める勇気を持つ。

取材で得られた町会役員の声の一部は以下です。

①コロナ禍においても「止める(NO)」と判断するとそこで止まってしまい、その後の再開が難しくなることから、「実施する(YES)」を選びそれをどのように実施するかを検討するようにしている。「町会は地域の最小単位であり、市民に最も近いところでの活動である。(柏市常盤台町会)

②町会の役割として、会員のニーズをしっかり情報収集する。従来の町会行事ありきで、行事をやるだけでは参加者が少なくなる。会員がどのように考えていて、町会に何を望んでいるのか知る必要がある。(宿連寺町会)

- ③町会の人たちが便利に、また楽しく暮らせることを念頭に活動している。その姿を見て高齢者のサポーターも気持ちよく活動してくれ、地域活動における年齢による差異は感じない。町会役員（特に町会長）は、人を巻き込むことが得意な人が良く、トップダウンは昔の方法。皆で進めていくことが大切と考えている。（新若柴町会）
- ④町会への関心を高めるため、活動の見える化を推進する。若い人が町会の必要性について理解が少ないことをとらえ「保険と欲して欲しい」と考えている。（柏南町会）
- ⑤町会行事や運営の簡素化が必要と考える。しかし1年交代の役員であり、変えようとしてもなかなか変えられず、前例踏襲となってしまう。また未だ男性社会の「町会活動」に、女性役員や若い世帯が入ることに抵抗がある人がいることも事実である。伝統を尊重しながら、町会運営や行事のやり方を変えていく必要を感じる。（利根町会）



## 2) 町会等運営方法の見直し

町会等運営には、会議開催、町会費集金、回覧、ふるさと会館管理、引継ぎ、高齢化対策、担い手確保など多くの項目があります。コロナ禍では対面での交流が制約され活動が滞っています。その一方、ICTを活用しオンライン会議やメール、ホームページで情報を共有し活動を継続している町会等もあります。これからは、若い世帯が参加し易い運営や、誰でも担える引継ぎ方法や協力体制を作り、持続可能な運営方法を考える時期と思われます。すでに実施されている内容は以下です。

- ①マニュアル類を整備する  
町会等運営ガイド、防災マニュアル、規約の見直し
- ②ICT化を進める  
オンライン会議やオンライン回覧、ホームページの開設、町会費の電子決済、町会資料のデジタル化
- ③積極的な情報発信  
手紙、広報紙、アンケート、掲示板整備

### 3) 町会等活動（イベント等）の見直し

町会等のイベントも3密を避ける工夫をして、新たな取り組みを行い開催に漕ぎつけている町会等も多くあります。

防犯防災活動は、今だからこそ出来る安否訓練や防災マニュアル整備、備蓄準備等や、屋外で少人数での防犯パトロールを継続している町会等も多くあります。コロナ禍の有無に関わらず、ごみ集積所管理は必要な活動ですが課題も多くあり、ひとつひとつ解決していく必要があります。地域の交流や福祉事業については、対面で行う行事が多く開催出来ない状況が続いています。規模縮小や分散開催、プレゼント提供など工夫をして実施されていますが、大きく内容を見直すことも必要になっています。すでに実施されている内容は以下です。

#### ① 3密回避（場所、時間、人数の分散）

分散防犯パトロール、安否確認訓練、防災機材/マニュアル整備、防犯カメラ設置

#### ② 野外活動

ウォーキング、スタンプラリー、清掃活動、花壇整備・ハロウィンパレード

#### ③ オンラインの活用

「お家で祭り」のネット配信、スマホ教室

各町会等の具体的な運営方法やイベント等については、後述する「特徴ある活動事例」をご参照下さい。

## 5. 特徴ある活動事例

### （2020～2021年度（令和2，3年度）取材分）

各町会等の施策については、2015～2019年度（平成27～令和元年度）の活動事例集も合わせてご活用下さい。柏市役所および柏市地域協働を考える会のホームページよりご覧頂けます。

#### ○柏市市民活動支援課

以下もしくは右図をご参照下さい。

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/shiminkatsudo/region/shiminkatsudo/katsudojoho/2079.html>



#### ○柏市地域協働を考える会

以下もしくは右図をご参照下さい。

→ <http://www.kyodoukai.jp/operation/case/>



## 1) コロナ禍での町会等運営（会議、会費集金、高齢化対策等）

### ① 柏市常盤台町会の活動事例紹介

#### 【町会概要】

1. 地域 : 永楽台地域
2. 世帯数 : 700世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1960年

#### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- ・総会は、今までは50名程度の参加者が、今年度は65名が参加。3密を避けるため、その内12~13名が会館に集合し、残りの参加者はグループLINEで参加。会館の会場では、スマホとモニター（TV）を接続した。
- ・班長会議は年1回、役員会議は月1回、対面で行っている。
- ・町会のグループLINEは、すでに昨年の夏祭りから使い始めていた。知識のある人に聞いて（町会長自ら）構築した。

#### 【その他】

- ・永楽台ふる協では、交流事業である只見町物産展は従来の対面販売では無く、お取り寄せにて実施。また只見町文化祭への参加は見送り、来年度の参加の際の宿泊費を前払いすることとした。

### ② 宿連寺町会の活動事例紹介

#### 【町会概要】

1. 地域 : 富勢地域
2. 世帯数 : 760世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1960年

#### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- ・役員会は、例年と同様に月1回開催。班長会議は2つに分けて、同日に時間を分けて開催。

#### 【引継ぎ、書類管理】

- ・現在、膨大な書面や電子データの資料を整理中。町会の情報を誰もが閲覧でき、情報の共有化をすることが大切と考えている。
- ・引継ぎ方法は、役員とブロック長は書面により引継ぎ。しかし新たに引き受ける人からすると、自分がどのような仕事を行い、どのくらい時間を割く必要があるのかも加えることが必要である。

## 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 町会内の人口動態を調査し、世代別世帯数を把握して町会の人たちが共通認識を持った上で、若い世帯向けや高齢世帯向けの行事を変えていこうと考えている。高齢化の実態は、60歳以上の人口は全体の約30%、70歳以上は約20%である。
- 高齢化は大きな課題と考えており、班長の役割を担えない人が増えてくると予想している。現在は班内で調整をしてもらっており特に大きな問題は出ていないが、今後の運営は検討が必要である。また町会役員の担い手も少なく、70歳まで働いてそれから町会役員を引き受けてくれるか疑問である。
- 若い役員からは、地域に住むからには「相互補助」が大切であり、助け合うことが必要。地域のコミュニティは1回壊れてしまうと立て直すことは大変である。また、若い人を町会活動に参加してもらうためには、その運営や行事について考え方ややり方が文面化されていることが大切であり、そうしないと理解してもらえないし、変化していかない。
- 役員の業務分担も見直すために、まず会長の仕事がどれほどあるか業務調査を行っている。その結果を見て分担を考える予定。

## ③新若柴町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 田中地域
2. 世帯数 : 346世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1991年

### 【会議開催（総会、役員会、班長（組長）会など）】

- 総会は書面決議を行った。
- 役員会は、広場管理を兼ねて集合して行っている。役員は4名で、他に民生委員も加わる。
- 班長会議は、3か月に1回、感染対策を打った上で集合し開催。集合が不安な班長は、会長が個別に対応するとの選択肢を揃えた。



調整池前の芝生広場



新若柴町会コミュニティハウス

### 【町会費集金、加入促進】

- 町会費は繰越金で運営が可能と判断し、前期分は見送ることとして、後期分だけ集金することとした。また振込用紙を配布しコンビニ払いできるようにするための方法や手数料を集金代行業社数社から見積もりを取った。費用対効果を事前に検討し手数料（200 円）は町会持ち。但し用紙印刷にレーザープリンターが必要であったが、たまたま町会が保有していたので、振り込み用紙を独自に発行できる。

### 【回覧、会報、掲示板】

- 町会が何も動かないと会員は不安になるので、ホームページや回覧でできるだけ情報を発信することに心がけた。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 高齢化の実態として、町会は若い世帯から高齢世帯が混在し、年齢によって支援内容を変えている。高齢化を理由に退会してしまうので、班長を免除する配慮をしており、そのことを全世帯に周知している。
- 役員の担い手不足は深刻。班長中心で班長会、実行委員会、広場管理委員会を回している。班長の役割が終わった後に、活動を手伝ってもらっている。
- 「事務局」を作って、元々班長さんだった人やパパ友3人で運営している。世帯数が350世帯程度なので、この人数でやれている。
- 町会運営の考え方や方針は、総会資料に記載し、理解をしてもらっている。

## ④逆井南町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 南部地域
2. 世帯数 : 490世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1969年

### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- 総会は、昨年も今年も書面決議、役員会は、近くの公園で立ったままで開催。

### 【町会費集金、加入促進】

- 町会費は例年通り徴収。令和4年度は半額の考えもある。

### 【ふるさと会館（センター）管理】

- 柏市の指導に従いふるさと会館は、万一の災害に備え避難所に指定しており、コロナ禍では通常の使用を控えるように訴え閉鎖しているが、会員からの理解が得られない。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 高齢となり高齢者施設に転居するため退会する人もいるが、極端な加入世帯数の変動はない。
- 役員任期1年で再任可。班長は輪番制で1年任期。役員手当を検討中。
- 班長の中には、高齢化を理由に順番がくると退会する人もいる。班長辞退については、班の中での話し合いで調整している。

## ⑤逆井仲町町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 南部地域
2. 世帯数 : 337世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1971年

### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- 総会は縮小し、役員20名が会館に集合、95%の委任状を得た。
- 役員会は3密を避け、会館で開催した。

### 【町会費集金、加入促進】

- 町会費は班長が例年通り徴収。
- 世帯主が高齢者施設に入居する事例があり、減少傾向が免れない。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 役員任期は1年で再任も可。班からの推薦で、各役職を決定している。
- 12班の班長で互選ということになっているが「あみだくじ」もある。

### 【その他】

- 町会等の活動は、ボランティアということが基本であるものの、慰労金を支給している。

## ⑥柏南町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 南部地域
2. 世帯数 : 300世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1968年

### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- 総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員のみでの少人数にて行ない、決議方法は書面決議。

### 【町会費集金、加入促進】

- 加入率は低くなる傾向であり、町内会の見える化が必要と考えている。

### 【ふるさと会館（センター）管理】

- 会館の利用率向上を目的に、利便性を図るための会館予約をWEBで実施して、オンラインで鍵の受け渡し（スマートキー）をする方法を考案中。現状は会館を借りたい人が副会長へ電話をして鍵の受け渡しをしている。

### 【引継ぎ、書類管理】

- 柏市のYouTube（町会等と市の関り、町会等の役割）を閲覧。総会後の引き継ぎは約2時間で行っている。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 毎年役員の確保は難しいので、町内会の見える化を検討中。
- 役員手当に関し、町会長は行政連絡の費用を充て、副会長と班長さんにも支給している。

## ⑦利根町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 富勢地域
2. 世帯数 : 99世帯（令和3年4月）
3. 町会設立 : 1975年

### 【会議開催（総会、役員会、班長(組長)会など）】

- 総会は書面決議で実施。役員会は4月から2か月に1回は集合して開催している。本年度は女性役員が多い。会長、副会長も女性である。単身の女性も増えてきており（夫が不在、入院等）自然の成り行きかもしれない。その一方、高齢者の中には「町会長は女性ではなれない（就任できない）。戸主でなければならない」と発言する人もいる。

## ⑧日の出町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 風早南部地域
2. 世帯数 : 411世帯(令和3年4月)
3. 町会設立: 2018年

### 【会議開催(総会、役員会、班長(組長)会など)】

- 役員会は、毎月集合して開催している。

### 【引継ぎ、書類管理】

- 引継ぎ後の4、5月は、前会長、前副会長が役員会にオブザーバーとして参加しアドバイスしてくれる。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 町会長は、現役には難しい。補助金申請(防犯灯補助金等)などの事務手続きがよく分からないし、事務手続きが多すぎる。
- 輪番となっている班長について、高齢者や障がいを持った人は班長を免除しても良い内容のガイドラインを作成した。

## ⑨大室町会の活動事例紹介

### 【町会概要】

1. 地域 : 田中地域
2. 世帯数 : 876世帯(令和3年4月)
3. 町会設立: 1960年以前

### 【会議開催(総会、役員会、班長(組長)会など)】

- 総会は、書面表決(書類を送付)。
- 役員会は毎月1回ふるさとセンターで実施している。

### 【町会費集金、加入促進】

- 町会費は、例年は年2回半年分ずつ徴収しているが、コロナ禍では年1回10月に例年の6割を集金している。そのため赤い羽根募金も10月に納付。
- 集合住宅居住者は会員ではないが、ある管理会社2社では、家賃に町会費を加算し、町会費分を町会に支払ってくれる。何もしてくれない事業者の方が多い。
- 入居者の急増(ここ数年で約1.5倍)で区分や支部を増やしているが、直接の説明会が開けず手続きが大変。
- 集合住宅(マンション、アパート)は加入しない。入会勧誘も特にしていない。

- 未加入世帯への加入説明会は休止。加入しない主な理由は、支部長などの役割を担いたくない。若い人より高齢者の方がより傾向が強い。

### 【回覧、会報、掲示板】

- 広報：広報誌を3か月に1回発行
- 全行事を中止した以外には特になく、回覧はポスティングした。

### 【役員・会員の高齢化に対応する負担軽減、担い手確保】

- 仕事の分担（専任化、アウトソースなど）は、今のところ考えていない。若い夫婦で積極的な人材がいる。



## 2) コロナ禍での町会等行事

多くの町会等が、コロナ感染拡大防止のため、行事を中止せざるを得ませんでした。特にお祭り等、顔を合わせて行う行事は開催できませんでした。またこれからの行事を計画する際にも苦慮されています。

しかし、その中でも感染防止策を打ち、行事の形を変えて、地域の人たちの交流の場を絶やさない工夫をしている町会等も増えてきています。

コロナ感染を正しく恐れ、地域の交流を絶やさないことが大切です。

### 【防災訓練・備蓄】

①防災活動は、集合して防災訓練が出来ない事から、普段できない事をやろうと「防災対策検討WG」を設立して検討を行った。その中で議論された「防災ファイル」を作成し、町会会員全世帯へ配布。会員が同じ情報を持ち、共通認識をもつことが大切との考えに基づくもの。ファイルには、柏市の防災マップや洪水ハザードマップ、独自に作成した防災情報、災害時の注意事項、家庭での備蓄、自主防災組織規約など。この1冊があれば緊急時に便利に使えるものである。特に「防災情報」の冊子は災害伝言ダイヤル／掲示板の使い方、行政等からの情報提供先へのアクセス一覧を記載したものであり、とても参考になっている。（宿連寺町会）

②防災関連に多めの予算配分とし、利根町会近辺が水害を含む災害が予想されるため、積極的に防災機材を準備している。また町内会に消火器を設置、AEDは高校内に設置している。（利根町会）

- ③会館の横に 200 リットルタンクがあり、運用についてこれから検討する。  
(柏南町会)
- ④災害時に一番心配なのは「火災」であり、回覧で火事の注意喚起を行っている。集合での訓練は実施していない。(柏市常盤台町会)
- ⑤上記を含め、取材や情報交換会などで得た情報では、14/32 (44%) 町会等が、感染防止を対策し防災訓練を実施している。



### 【防犯活動】

コロナ禍においても、多くの町会等が屋外で密にならない防犯パトロールを継続しており、とても心強いです。「できる事を行う」ことは大切と考えます。

- ①恒例の防犯パトロールを毎週日曜日の 15~16 時に当番を決めて行っている。今年はコロナ対策についても呼びかけている。毎週行われる防犯パトロールは、町会会員の安心感を与えているものとする。このような努力を垣間見て、集合住宅の町会未加入者が少しでも加入してくれることを期待したい。(宿連寺町会)
- ②年末の夜警と 8/15 の応援太鼓 (厄払い) は実施。児童の登下校時に見守りをしているが、防犯ベストや靴などを今後揃えたい。(逆井南町会)
- ③防犯パトロールを毎月 1 回、19 時から防災防犯担当の班長が行っている。(日の出町会)
- ④市の補助金を活用し、神社建物の前後に防犯カメラ設置を計画中。(栄町町会)
- ⑤防犯指導員 2 名が 1 回/月見回りをしている。(大室町会)



### 【ごみ集積所管理】

コロナ禍であっても無くても、ごみ集積所管理は町会等の大切な活動であり、継続されています。そのため、ごみ集積所の使い方に関する課題は常にあります。カラス被害、ごみ集積所の設置場所や設置方法については徐々に改善が図られてきましたが、依然として不法投棄やごみ出しルール違反には、多くの町会等が対応に苦慮しています。また高齢者のごみ出し支援はこれからの課題となりそうです。

令和3年度に「古くて新しいごみ集積所の課題と対応」のテーマで座談会を開催し、多くの町会役員の方々が意見交換を行いました。その中でカラス被害防止に「サークル型ごみネット」の効果が高いことが話題となりました。

- ①ごみ集積所管理は各班で行っており、ごみネットは町会が購入している。たまに町会外の方の不法投棄はあるが、特に大きな問題は無い。尚、班によってはごみ集積所の場所代を支払っているところもある。(宿連寺町会)
- ②粗大ゴミのルールを守らない人がおり不法投棄が多い(年4~5回ほど不法投棄がある)。防犯カメラの設置を取り組み中で、管理に関しては町会が行う。(柏南町会)
- ③ごみ捨てルールで良く分からない箇所があり、役員が対処せざるを得ない(改めて廃棄しに行く)こともある。ごみ捨てルールの小冊子を各世帯でプリントアウトするには50ページもあり大変である。(利根町会)
- ④集合住宅のごみ出しは、曜日に関係無いので困る。大家も町会に未加入なので対処が難しい。(日の出町会)
- ⑤世帯数に対してゴミステーションが少ない。新規の宅地開発時に市の適切な指導がなされていないため、分譲入居後にゴミステーションに関わる諸問題が露見し、その対応を市も宅地販売会社も町会に求めて来るので大変困っている。今後さらに世帯数の増加が見込まれるので、問題は益々拡大傾向にある。宅地の開発許可は市が行うのでその時点でデベロッパーへの指導や確約をしっかりとってほしい。(大室町会)
- ⑥アパートのごみ集積所が不適切であり、オーナーに話したがウチが上がりず管理会社に交渉した結果、管理会社が「ゴミ収集の専門業者」に依頼することで解決した。金刀比羅神社の清掃等、地域住民に声をかけただけで集まってくれる。(栄町町会)



## 【お祭り、文化祭、運動会、イベント】

- ①夏祭りは、やぐらや踊り、屋台は無く、公園で太鼓発表会と抽選会を行った。抽選会はクジ式で、集まらずにダラダラと公園に来てもらい外れ無しのクジを引く方式。1等賞はお米5Kg、恒例の焼きそばが作れなかったので、カップ焼きそばが景品となった。踊りや花火を各家庭で行ってもらい、それを撮影したものをグループLINEでお知らせして町会の人に見てもらおうようにした。各家庭での花火等購入物は町会から補助金を出した。  
夏祭りは、2日間開催し、2日目の午後に行った「カラオケ大会」は、スマホとモニター(TV)を使いYOUTUBEのカラオケを流して歌ってもらい、たいへん好評であった。スマホの使い方は、良く知っている若い人に教えてもらった。また柏市のアイドルグループが町内の関係者の声掛けで参加してくれた。町会の人にはたいへん好評であったが、他町会の人からは「こんな時に夏祭りを開催して良いのか！」と苦言があった。(柏市常盤台町会)
- ②広場(コミュニティハウス前に広々とした広場がある)整備を5~6名で行い、庭づくり(カシニワに登録)や畑づくり、芝生アートを制作。その広場で、令和3年7月にイベント「プチマルシェ」を開催。フリマや福祉製作所のハンドメイド品販売、出店がある。これは会員から「何もやらないのか？」との意見があり、広場に子ども達が集まることに対しては感染防止対策をして実施する判断をした。(新若柴町会)
- ③納涼大会は、今まで2日間かけて開催していたが、準備期間含めるとたいへんであり、1日に凝縮して行うことを検討中。子ども達や若い世帯にも参加してもらいたいのので、実行委員会に中高生も参加してもらいたい。色々と考えてみても、実際にやってみないと分からない。新しいことと同時に今までの伝統も大切である。バランスを取ってやっていく。(宿連寺町会)

## 【サロン活動、おしゃべり会、生活支援】

- ①香典や出生祝いに加え、入学祝い(図書カード)は継続して町会から贈っている。またグランドゴルフの会は、活動を再開した。(柏市常盤台町会)
- ②サロン活動や子ども向け行事(餅つき、本の読み聞かせなど)は活動休止しているが、生活支援(ごみ出しなどを有料)は実施している。(逆井南町会)
- ③サロン活動は休止中だが、生活支援(ゴミ出しなど)は実施している。(逆井仲町町会)
- ④サロン活動は、不定期で開催している。(大室町会)
- ⑤町会内の神社で年末12/30に開催する「歳旦祭」は、例年行事であり、地域住民の良き交流の場となっている。(栄町町会)

## 【サークル、親子会支援】

- ①コロナ禍で小学校（八小）の卒業式では、親は式場に入れず外で待っている中で、町会主催のサプライズ企画で卒業生が通る通学路に「卒業おめでとう」ゲートを設置し、全員にケーキを配った。またハロウィンは、今までふるさと協議会の行事であったが今年は中止となってしまった。でも子ども達から要望が出て、小学生以上の親子会と小学生未満のママ友会が企画し、町会は資金援助をし開催した。10人ぐらいのグループを4つ作って、分けて仮装パレードを行った。（柏市常盤台町会）
- ②老人会の「末廣会」に補助金を支出している。（逆井仲町町会）
- ③敬老会の「しいの実会」が、グラウンドゴルフ等の活動を活発に行っているため、町会から助成金を出している。（日の出町会）

## 3) ICT化への取り組み

各町会の取り組みには大きな差異があり、積極的に利用している町会等は少ない状況です。比較的若い役員が多い町会では、自然にICTを利用していますが、あまり普段利用していない役員が多い町会等では、その活用方法が不明でメリットを感じていません。また一部の会員がICTを利用できないことも活用に踏み切れない要因となっています。

地域で過ごす時間が少ない若い世帯を巻き込むためには、ICT活用は必要な手段であり、コロナ禍で対面での会合に制約ある場合には、ICTを活用し町会活動を停滞させないことが大切と考えます。

- ①文書管理システムを構築し、誰もが資料をアップし、検索できるように進めている。オンライン会議は講習会のように一方的に説明するには適しているが、協議するためには適していないと考えている。またスマホを持っていない人もいるので、すぐにオンライン会議はできない。（宿連寺町会）
- ②会議は集合を重視し、オンライン会議は実施していない。しかし町会費の集金はコンビニ払いに移行するなど、ICT活用には前向きに取り組んでいる。役員間の主な連絡はLINEアプリを活用している。（新若柴町会）
- ③人数を絞ってZOOM会議を行っている。回覧をやめて、班長によるポスティングをしている。ホームページは開設しており、リーズナブルな費用で業者に任せている。ホームページ担当は広報書記部であり、会議や総会議事録の書記とともに、ホームページ掲載原稿を業者への取り次ぎを行っている。基本的に皆さん仕事でパソコンを使いこなされる住民が多く、特にICT担当

役員は置いていない。次期役員への引き継ぎが、データで行ったり紙で行ったりで特に指定はしていない。(手賀の杜自治会)

- ④昨年度中に会館にホームルーター(インターネット)を導入し、オンライン会議導入を進めている。町内会のホームページに関しては2年前に開設済みで広報担当が記事を担当している。メールアドレスは個人情報があるために現在は会長が管理をしている。(柏南町会)

## 4) 町会等の解散や停滞の状況

### 【解散町会】

令和3年3月末に、市内の3つの町会等が解散しました。様々な事情あるので一概に問題とは言えませんが、もう少し早く対応が取れば良かった事例もありました。

解散理由は、企業の社宅が転居によるもの、団体所有住宅の町会加入者が減少したことにより近隣町会へ組み入れたものは致し方ありませんが、1つの町会では役員の引継ぎが出来ずに解散しました。長年役員が代わらず活動も停滞していたため、会員離れが進んだと思われます。会員の内希望者は近隣の町会へ移ることとなりました。

### 【活動が停滞している町会等の状況】

- ①ある集合住宅の自治会は、再開発をきっかけにその前後3年間で自治会加入世帯数が1/3に減少しました。集合住宅に入居している方は、自治会加入の必要性をあまり感じておらず、そのため自治会は加入促進策を実施していない状況でした。同じ自治会長が長年就任し、自治会活動が停滞していたことも、加入率低下に影響があったと思われます。
- ②別の集合住宅の自治会の役員は、役員の認識が全く無く、取材にも応じて頂けませんでした。特別な活動は何もしていないと思われます。
- ③ある商店街と集合住宅が混在する町会では、町会内に住居している会員は僅かであり、集合住宅の住民は入会しておらず、町会活動は行われていません。

以上



## 6. アルバム

### 第12回町会等情報交換会（令和2年10月31日）

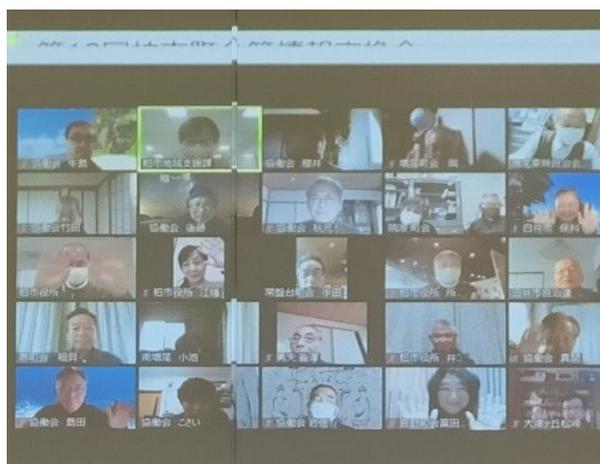


初めてのオンライン情報交換会



主催者も必死でした

### 第13回町会等情報交換会（令和3年1月29日）



多くの方々が参加して頂きました



主催者も落ち着いて出来ました

### 第14回町会等情報交換会（令和3年10月1日）



柏市防災安全課の講義



オンライングループ討議も慣れてきました

## 第1回町会等活動座談会（令和3年7月16日）



柏市環境サービス課の講義



オンラインで真剣な討議が行われました

座談会で課題となった「サークル型ごみネットの扱い」を、再度環境サービス課と協議しました。その結果、各町会で片づけることを前提に使用できるようになりました。



カラス除けに効果のあるごみ集積所  
サークル型ごみネット



ファスナー付ごみネット

## 第2回町会等活動座談会（令和4年1月28日）



西山町会の事例報告



各町会等の状況を報告

## 取材先の各町会等役員の皆さま



宿連寺町会  
鈴木会長 出口副会長 望月書記長



新若柴町会  
坂上会長



逆井南町会  
齋藤会長



逆井仲町町会  
越後会長 桶谷副会長



柏南町会  
松本会長



利根町会  
崎原副会長 五十嵐会長 松本副会長



日の出町  
中村会長



大室町会  
高荒(たかあら)副会長 能代谷(のしろや)副会長  
富澤町会長



小柳町町会  
金子会長



栄町町会  
小池会長



## 7. 資料編

### 1) お役立ち事業（補助金等）

- ①行政連絡業務交付金
- ②掲示板設置等補助金
- ③自主防災組織設立補助金
- ④防犯灯維持費補助金
- ⑤防犯灯設置費補助金
- ⑥ふるさとセンター整備事業補助金
- ⑦地域活動支援補助金（プラステン）
- ⑧資源回収報償金



上記は以下または右をご参照下さい。

→ <https://www.city.kashiwa.lg.jp/region/chokai/hojo/index.html>

### 2) 窓口案内

- ①柏市 市民生活部 市民活動支援課

電話番号：04-7167-1126 FAX：04-7167-8103

ホームページ：以下または右をご参照下さい。



<https://www.city.kashiwa.lg.jp/shiminkatsudo/shiseijoho/shisei/soshiki/chikishien.html>

- ②柏市地域協働を考える会

メール：[info@kyodoukai.jp](mailto:info@kyodoukai.jp)

ホームページ：以下または右をご参照下さい。

→ <http://www.kyodoukai.jp/>



### 3) 参考資料（各 URL または右をご参照下さい）

- ①柏市町会等一覧（以下の該当部分をご覧ください）

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/shiminkatsudo/region/chokai/kanyu/chiran.html>



- ②ふるさと協議会連合会（以下の該当部分をご覧ください）

→ <http://www.kyodoukai.jp/link>



- ③柏市町会、自治会、区など 役員体験談

→ <http://www.kyodoukai.jp/operation/voice/>



## 8. 町会等情報交換会、町会等活動座談会、取材活動の紹介

柏市市民活動支援課と柏市地域協働を考える会は、協働事業として平成27年度より「町会等情報交換会」を、令和3年度に「町会等活動座談会」を開催しました。町会等情報交換会では主に町会長等を中心に、町会活動運営の課題について、町会活動座談会では具体的な活動の実情や課題について、各町会等で工夫や努力をしている内容を情報共有し、参考にして頂く目的で開催してきました。

町会等の役員の方々と、市役所職員、柏市地域協働を考える会メンバーで、共通の課題を出し合い、解決策を探るため、様々な意見交換を行いました。今まで、話し合ったテーマは以下です。

### 【町会等情報交換会】

平成27年度	第1回	町会、自治会、区等への加入促進策
	第2回	加入促進策・脱退抑制策
	第3回	どうする町会等の運営や高齢化への対応
平成28年度	第4回	若い人の町会等参画（行事参画，役員登用）
	第5回	若い人の町会等参画（行事参画，役員登用）
平成29年度	共通テーマ	地域の高齢化に向き合う
	第6回	高齢化に伴う課題とは
	第7回	元気な高齢者が住む地域づくり
平成30年度	共通テーマ	楽しく町会等活動を行うために
	第8回	スムーズな町会運営を行なうために
	第9回	町会運営のスマート化を目指して
令和元年度	共通テーマ	再検証！ 町会等は、なぜ在るの？
	第10回	町会等は、なぜ在るの？
	第11回	同上
令和2年度	第12回	コロナ禍で学んだ今後の新たな町会等活動
	第13回	同上
令和3年度	第14回	町会等でできる防災活動

### 【町会等活動座談会】

令和3年度	第1回	古くて新しい ごみ出しの問題と対応
	第2回	まちの防犯パトロール活動

また、柏市市民活動支援課と柏市地域協働を考える会では、各町会等の活動を取材させて頂き、今までに101町会等の貴重な情報を平成27～令和元年度の各年度の事例集および本事例集に掲載させて頂きました。

「町会等情報交換会」「町会等活動座談会」の内容も、本事例集に掲載しています。詳細内容は、柏市役所および当会のホームページから閲覧できますので、ご参照下さい。

## 9. インタビューをおえて

### 1) 柏市地域協働を考える会の所感

まず、インタビューに応じて頂いた各町会、自治会等の役員の皆様には、大きなご協力を頂き、感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回は特にコロナ禍で活動に制約がある中で、各町会等がどのような活動を行い、どのような課題があるか、また活動の一助となるICT活用について実情やお考えをお聞きしました。そのご苦労やご努力、今後の進め方などをまとめました。

本内容を、他の地域でご努力されている町会等の役員の皆様と情報共有し、是非、地域活動のご参考にして頂きたいと思います。

多くの町会等の活動が中止になる中で、様々な工夫をして形を変えて、行事や事業を継続している町会等も少なくありません。町会等役員の皆様がリーダーシップを取り、従来踏襲に拘らず、新たな活動に一步踏む出すことを期待します。

各町会等の横の連携を強め、楽しく、安心して住める地域づくりに、私たちも、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

### 2) 連絡先

柏市地域協働を考える会 事務局（深津英雄）

電話番号/FAX：04-7174-2483

メール：[info@kyodoukai.jp](mailto:info@kyodoukai.jp)

#### 楽しい地域活動のコツ

- 1) 活動3割、楽しみ7割
- 2) 人と接することを楽しむ
- 3) 深追いしない
- 4) 寛容のこころ